

レジメン名

Bev+PEM

出典 アリムタ適正使用ガイド2013年2月作成
Eur J Cancer.47,2011(Suppl.2;abstr LBA34)

実施部署区分

<input checked="" type="checkbox"/> 入院	<input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input type="checkbox"/> 処置
--	--	-----------------------------

対象疾患

非扁平上皮肺がん stageⅢB、Ⅳ
<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 補助療法(術前・術後) <input checked="" type="checkbox"/> 維持療法 <input type="checkbox"/>

投与減量の基準

ANC<1000/mm³またはANC<500/mm³
 Plt<2.5万/mm³または血小板輸血を実施した場合
 ANC<1000/mm³かつ38.0℃以上
 前コースで上記のいずれかを満たすとき、アリムタのみ80%doseに減量。

投与中止の基準

ANC	1500/mm ³ 未満※	PLT	7.5万/mm ³ 未満※
Hb	8.0g/dL未満※	CLcr	45mL/min未満#
AST,ALT	100IU/L以上*	T-bil	1.8mg/dL以上*
その他	#CLcrの評価はCockcroft-GaultとeGFR×BSA/(1.73×0.715)のうち、高い値を採用する。 *肝転移がある症例では、AST,ALT 200IU/L以上、T-bil 3mg/dL以上とする。		

※出典ではANC 2000/mm³未満、Plt 10万/mm³未満、Hb 9.0g/dL未満だが、制限が厳しいためGrade2の血液毒性として上記の値で登録

1クール期間 21日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ペバシズマブ	15mg/kg	NS100mL	90分※ (30分まで漸減可能)	d1
ペトレキセド	500mg/m ²	NS50mL (全量80mL以下)	10分	d1
※初回は90分、忍容性があれば2回目は60分、3回目以降30分に短縮可				
ペトレキセド投与1週間以上前～最終投与日から22日目まで、葉酸0.5mg/日を連日経口投与とビタミンB12 1mg/回を9週間毎に筋注。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②ペバシズマブ15mg/kg+生食100mL(90min※) ③生食50mL(フラッシュ用) ④デキサト6.6mg+生食100mL(15-30min) ⑤生食50mL(フラッシュ用) ⑥ペトレキセド500mg/m ² +生食(100mL)50mL(10min) ⑦生食50mL(フラッシュ用)